

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 6日

事業所名 子ども発達支援センターこぶし園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	7	1	0	・各部屋ごとに担当職員を設置し、利用者さんを分散させて活動するように努めている。 ・訓練室や相談室など児童に合わせて分けている。 ・活動によって部屋を分けたりしている。	
	2	職員の配置数は適切である。	5	3	0	・病欠その他、急に職員が減る事態が続き、バタバタする時期もあった。その都度慌てず対応しなければ、と思っている。 ・保育士、言語聴覚士、公認心理師、臨床発達心理士等資格を所持している職員で構成されている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている。	5	2	1	・エレベーターの使用など、助かっている。室内の段差もほとんど無く、過ごしやすと思う。 ・ぐらつきのあった手すりの補修工事を行った ・玄関の段差。 ・エレベーター、手すりなどの設備がある。 ・エレベーター設置。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	4	4	0	・正規職員とパート職員の温度差をどう埋めるか。? ・個別支援計画を作る際に合わせて行っている。 ・集まって振り返りをすることは行っていない。	・朝礼後や昼の会の時に業務改善に向けて職員間で話し合うようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	5	3	0	・なるべく期待に沿うよう努めているが、実際にはどうかな?と疑問。 ・アンケートに限らず保護者からの要望にその都度対処している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	8	0	0	・アンケート集計等の担当職員を決めて、きちんと行っている。 ・担当者がいて、対応できている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	0	3	5	・繋げているかどうか分からない。 ・これを機会に総務に伝える予定。 ・第三者評価は行っていない。	・法人全体の課題として今後検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	7	1	0	・研修に定期的に参加させてもらっている。 ・研修担当者がいて、計画的に行っている。 ・法人で事例検討会を行った。	
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	5	3	0	・半年に1度の保護者面談を丁寧に行っている。 ・個別支援計画作成の前後に行っている。 ・年2回面談を行っている。 ・まだ十分とは言えない。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	4	3	1	・アセスメントシートを統一している。 ・こぶし園の書式を作成。 ・独自のアセスメントシートを使っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている。	3	5	0	・業務分担している事もあり、全員で立案出来ている訳ではない。 ・担当者が作成し、チームで確認、修正。 ・長期休暇の立案は1人で行うことが多い。平日はそれぞれが子どもに合わせて活動を提供している。	・担当職員を中心としながら、チームで確認し検討していく。

提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	5	3	0	<ul style="list-style-type: none">・利用者さんの特性上、固定化する事で情緒が安定する場合も多々あるため、一概には言えない。・児童に合わせたプログラムをその都度作成。	
----	----	-------------------------	---	---	---	--	--

	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・キメ細やかに設定出来ているとは言えない。 ・課題は個別に設定している。 	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・組み合わせられているとは限らない。 ・個別に合わせて作成。 	
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・昼の会、部会などを行い確認している。 ・朝礼や昼の会などで確認している ・週3回昼会で確認。その他付箋等を使い気がついたら書いてみんなの見えるボードに貼り周知する。 ・小集団療育ではリーダーの職員が活動を決め、口頭で伝えている。改善等は話し合っている。 	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	1	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・退勤時間がバラバラで、その日の内に振り返りをするのは難しい。 ・後日の昼の会などで報告している ・特筆すべき事実があった時。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早番、日勤、遅番があり職員の勤務時間が同じではないため、全職員で支援終了後に支援の振り返りを行うことはできないが、朝礼や昼の会、伝言板等で支援の振り返り等を今後も行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・皆で協力して記録は必ずつけている。 	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1度に留まっている。 	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の放課後はなかなか時間が取れず(送迎などあり)出来ていない。 	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと把握出来ている職員が、会議等に参加出来ていると思う。 	
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている。	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・非協力的な学校もある。 	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。	2	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医と直接連携を取る事はあまりない。 ・受け入れていない。 ・医ケア児がいない。 	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・非協力的な所もある。 ・支援会議を行なっている。 	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	4	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内だが、就労移行支援の会議などを開いている。 ・行った事業所から要請があれば行っている。 	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	3	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特にしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同事業所に児童発達支援センターがあるので、今後どのように連携すれば良いか職員間で検討する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	0	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずそれが親のニーズとは限らないと思っている。 ・現在コロナ禍であるためしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、実施しなかったが、保護者の希望を聞きながら今後検討したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している。	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的に参加。 	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時など、親御さんとのコミュニケーションも大事にしている。 ・お迎えの時。公式LINEを使って。 	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	2	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングと言えるほどの事は行っていない。 ・年二回の面談にて。 	・年2回の面談やお迎えの時に、保護者とお話をしながら、保護者の対応力の向上を図っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	6	2	0	・年に二回の面談等で、その都度必要事項は説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な助言や支援が出来ているかは不明。自信がない。 ・面談、お迎えの時に。 	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	1	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、その様な行事等行っていない。 ・現在コロナ禍のため出来ない。 ・保護者の方のグループワークを行っている。 ・コロナにより家族会は行っていない。 	・新型コロナウイルス感染症対策のため、家族会等の行事を行わなかった。今後は感染状況を踏まえながら開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。 ・マニュアル作り、連絡体制に従って行なっている。 	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員を設置し、取り組んでいる。 ・長期休暇の予定表、長期休暇後の写真付きのお便りなどは配布しているが、平日は行っていない。 	
	35	個人情報に十分注意している。	8	0	0	・今後も継続。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。 ・視覚支援をしている。 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	0	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、その様な行事等行っていない。 ・コロナにより行事を行っていない。 	・新型コロナウイルス感染症対策のため、行事を行わなかった。今後は感染状況を踏まえながら開催を検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	5	3	0	・今後も継続。最近は、より強化出来ているように思う。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。最近は、より強化出来ているように思う。 ・月1で。 ・毎月避難訓練を行っている。 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	6	2	0	・せっかく委員会を設置しているのに、実際の委員会をなかなか開かず後回しになっている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	6	2	0	・記載はしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	5	3	0	・保護者に必ず聞き取りを行い、書面にしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員を設置し、共有も出来ている。 ・ヒヤリハットのマップに書き込むようにしている。 	